

【新旧対照表】暗号資産現物取引説明書

(傍線の部分は変更部分)

新	旧		
<p>3.取り扱い暗号資産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ビットコイン (BTC)</u> ・ <u>ビットコインキャッシュ (BCH)</u> ・ <u>イーサリアム (ETH)</u> ・ <u>イーサリアム・クラシック (ETC)</u> ・ <u>ライトコイン (LTC)</u> ・ <u>エックスアールピー (XRP)</u> ・ <u>リスク (LSK)</u> <p>※各暗号資産の概要については、別紙「<u>取扱い暗号資産の概要</u>」をご確認ください。</p> <p>(削除)</p>	<p>3.取り扱い暗号資産</p> <p>(追加)</p> <p>当社が取り扱う暗号資産は下記の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="1128 1077 2128 1461"> <tr> <td data-bbox="1128 1077 1397 1461"> ビットコイン (BTC) </td> <td data-bbox="1397 1077 2128 1461"> ビットコイン (Bitcoin、BTC) は、2008年にサトシ・ナカモト (Satoshi Nakamoto) を名乗る人物により発表された論文 (Bitcoin: A Peer-to-Peer Electronic Cash System) に基づき、発行主体が存在しない世界初の暗号資産として2009年に運用が始まりました。P2P (Peer to Peer) のネットワークによって運営され、ビットコインの取引はブロックチェーン技術によって記録・管理されています。ビットコインは暗号資産のなかで最大の時価総額・取引 </td> </tr> </table>	ビットコイン (BTC)	ビットコイン (Bitcoin、BTC) は、2008年にサトシ・ナカモト (Satoshi Nakamoto) を名乗る人物により発表された論文 (Bitcoin: A Peer-to-Peer Electronic Cash System) に基づき、発行主体が存在しない世界初の暗号資産として2009年に運用が始まりました。P2P (Peer to Peer) のネットワークによって運営され、ビットコインの取引はブロックチェーン技術によって記録・管理されています。ビットコインは暗号資産のなかで最大の時価総額・取引
ビットコイン (BTC)	ビットコイン (Bitcoin、BTC) は、2008年にサトシ・ナカモト (Satoshi Nakamoto) を名乗る人物により発表された論文 (Bitcoin: A Peer-to-Peer Electronic Cash System) に基づき、発行主体が存在しない世界初の暗号資産として2009年に運用が始まりました。P2P (Peer to Peer) のネットワークによって運営され、ビットコインの取引はブロックチェーン技術によって記録・管理されています。ビットコインは暗号資産のなかで最大の時価総額・取引		

		<p>高を誇っており、暗号資産の代表的な存在です。また、発行上限枚数が 2,100 万枚と決められており、インフレーションが起こらないように設計されています。</p>
	<p>ビットコインキャッシュ (BCH)</p>	<p>ビットコインキャッシュ (Bitcoin Cash、BCH) は、ビットコインのスケールability問題 (ブロックサイズに起因する取引処理速度などの問題) を解決するために、2017 年、ビッグブロックという方法を採用したビットコインの分裂 (ハードフォーク) により誕生した暗号資産です。これにより、ビットコインキャッシュではブロックサイズが 1MB から 8MB へ拡張されています。基本的な仕様はビットコインと変わらず、発行上限枚数も同様に 2,100 万枚となっています。</p>
	<p>イーサリアム (ETH)</p>	<p>イーサリアム (Ethereum、ETH) は、2013 年にヴァイタル・ブテリン (Vitalik Buterin) により考案され、2014 年に販売が開始された暗号資産です。ビットコインに次ぐ第 2 位の時価総額を誇っており、アルトコインの代表的な存在です。また、イーサリアムは分散型アプリケーション (DApps) やスマートコントラクト (さまざまな契約をブロックチェーン上で自動的に実行できる仕組み) を動かすためのプラットフォームとして、オープンソースで開発が進んでいるプロジェクトです。</p>
	<p>イーサリアム・クラシック (ETC)</p>	<p>イーサリアム・クラシック (Ethereum Classic、ETC) は、2016 年にイーサリアムの分裂 (ハードフォーク) により誕生した暗号資産です。イーサリアムのハードフォークは、DAO 事件 (イーサリアム上で展開されたプロジェクトである The DAO が、システムの脆弱性を突かれる形で約 50 億円を盗まれる事件) を発端としています。この</p>

事件の被害者を救済するための対応をめぐり、非中央集権的な暗号資産を目指すコミュニティが「コードが法である (Code is law.)」と唱えて反発したことで、イーサリアム・クラシックが誕生しました。基本的な仕様はイーサリアムと変わらず、分散型アプリケーション (DApps) やスマートコントラクトを動かすためのプラットフォームとなっています。

ライトコイン (LTC)

ライトコイン (Litecoin、LTC) は、2011年にチャーリー・リー (Charlie Lee) により提案され、ビットコインの機能を補う目的で誕生した暗号資産です。ビットコインのブロック生成時間が約 10分に調整されているのに対し、ライトコインは約 2.5分に調整されています。また、ライトコインの発行上限枚数は 8,400万枚と、ビットコインの 4倍に設定されています。さらに、ビットコインのスケールビリティ問題に対して、取引データサイズを小さくさせるセグウィット (SegWit) を初めて導入しました。

4.暗号資産取引所の取引概要

(略)

預入通貨	暗号資産：BTC、BCH、ETH、ETC、LTC、 <u>XRP、LSK</u> 法定通貨：日本円 (JPY)
取引銘柄	BTC/JPY、BCH/JPY、ETH/JPY、ETC/JPY、LTC/JPY、 <u>XRP/JPY、LSK/JPY</u> 、BCH/BTC、ETH/BTC、ETC/BTC、LTC/BTC

4.暗号資産取引所の取引概要

(略)

預入通貨	暗号資産：BTC、BCH、ETH、ETC、LTC 法定通貨：日本円 (JPY)
取引銘柄	BTC/JPY、BCH/JPY、ETH/JPY、ETC/JPY、LTC/JPY、BCH/BTC、ETH/BTC、ETC/BTC、LTC/BTC

(略)

5.取引銘柄

(略)

取引銘柄	取引単位	呼値の単位	最小注文数量	最大注文数量
BTC/JPY	0.00000001	0.01	0.0001	原則制限はありませんが、一度の注文が該当銘柄の価格の変動率の30%を超える場合はご注文を制限させていただきます。
BCH/JPY	0.00000001	0.01	0.01	
ETH/JPY	0.00000001	0.01	0.01	
ETC/JPY	0.00000001	0.01	0.1	
LTC/JPY	0.00000001	0.01	0.1	
XRP/JPY	0.001	0.01	10	
LSK/JPY	0.00000001	0.01	1	
BCH/BTC	0.0001	0.00001	0.01	
ETH/BTC	0.000001	0.00001	0.001	
ETC/BTC	0.00001	0.0000001	0.1	
LTC/BTC	0.000001	0.000001	0.001	

(略)

9.金銭・暗号資産の入出金方法

(略)

暗号資産の入庫

当社への預託が可能な暗号資産はBTC、BCH、ETH、ETC、LTC、XRP、LSKとなります。暗号資産の預託は、当社が暗号資産ごとに指定したアドレスに限られます。当社が指定したアドレス以外への送付や当社が取扱っていない暗号資

(略)

5.取引銘柄

(略)

取引銘柄	取引単位	呼値の単位	最小注文数量	最大注文数量
BTC/JPY	0.00000001	0.01	0.0001	原則制限はありませんが、一度の注文が該当銘柄の価格の変動率の30%を超える場合はご注文を制限させていただきます。
BCH/JPY	0.00000001	0.01	0.01	
ETH/JPY	0.00000001	0.01	0.01	
ETC/JPY	0.00000001	0.01	0.1	
LTC/JPY	0.00000001	0.01	0.1	
BCH/BTC	0.0001	0.00001	0.01	
ETH/BTC	0.000001	0.00001	0.001	
ETC/BTC	0.00001	0.0000001	0.1	
LTC/BTC	0.000001	0.000001	0.01	

(略)

9.金銭・暗号資産の入出金方法

(略)

暗号資産の入庫

当社への預託が可能な暗号資産はBTC(ビットコイン)、BCH(ビットコインキャッシュ)、ETH(イーサリアム)、ETC(イーサリアム・クラシック)、LTC(ライトコイン)となります。暗号資産の預託は、当社が暗号資産ごとに指定したア

産を送付された場合は、当該暗号資産の返却について当社は一切の責任を負いません。当社に預託された暗号資産については、かかる預託を当社が確認した時点でお客様の入出金口座に反映されるため、お客様における手続の完了から入出金口座への反映までの間に、一定のタイムラグが生じる可能性があることにご注意ください。

(略)

暗号資産の入出庫限度額について

	最小入庫数量	最大入庫数量	最小出庫数量	最大出庫数量
BTC	0.00001	制限なし	0.001	全暗号資産合計で 1 日あたり 3 億円相当 1 回あたりの制限はありません。
BCH	0.001		0.01	
ETH	0.001		0.01	
ETC	0.01		0.01	
LTC	0.001		0.01	
XRP	0.1		0.5	
LSK	0.1		1	

(略)

17.各種手数料

口座開設		無料
口座維持		無料
入金手数料	日本円 (銀行振込)	無料 (銀行振込手数料はお客様負担)

ドレスに限られます。当社が指定したアドレス以外への送付や当社が取扱っていない暗号資産を送付された場合は、当該暗号資産の返却について当社は一切の責任を負いません。当社に預託された暗号資産については、かかる預託を当社が確認した時点でお客様の入出金口座に反映されるため、お客様における手続の完了から入出金口座への反映までの間に、一定のタイムラグが生じる可能性があることにご注意ください。

(略)

暗号資産の入出庫限度額について

	最小入庫数量	最大入庫数量	最小出庫数量	最大出庫数量
BTC	0.00001	制限なし	0.001	全暗号資産合計で 1 日あたり 3 億円相当 1 回あたりの制限はありません。
BCH	0.001		0.01	
ETH	0.001		0.01	
ETC	0.01		0.01	
LTC	0.001		0.01	

(略)

17.各種手数料

口座開設		無料
口座維持		無料
入金手数料	日本円 (銀行振込)	無料 (銀行振込手数料はお客様負担)

入庫手数料	暗号資産	無料	
出金手数料 (税込)	日本円 (銀行振込)	出金額	出金手数料
		100万円未満	400円
		100万円以上 1,000万円未満	770円
		1,000万円以上	1,320円
出庫手数料 (税込)	暗号資産	暗号資産によって異なり、以下の範囲内で、お客様が任意に設定できます。出庫手数料にはトランザクション手数料を含みます。	
		設定可能範囲	設定可能単位
	BTC	0.0005~0.02	0.0001
	BCH	0.001~0.2	
	ETH	0.01~0.2	
	ETC	0.01~0.2	
	LTC	0.001~0.2	
	<u>XRP</u>	<u>0.1~5</u>	
	<u>LSK</u>	<u>0.5~2</u>	

(略)

附則

2020年3月1日制定 施行
2020年5月1日改定 施行
2020年5月29日改定 施行
2020年8月11日改定 施行
2020年9月9日改定 施行
2020年10月14日改定 施行

入庫手数料	暗号資産	無料	
出金手数料 (税込)	日本円 (銀行振込)	出金額	出金手数料
		100万円未満	400円
		100万円以上 1,000万円未満	770円
		1,000万円以上	1,320円
出庫手数料 (税込)	暗号資産	暗号資産によって異なり、以下の範囲内で、お客様が任意に設定できます。出庫手数料にはトランザクション手数料を含みます。	
		設定可能範囲	設定可能単位
	BTC	0.0005~0.02	0.0001
	BCH	0.001~0.2	
	ETH	0.01~0.2	
	ETC	0.01~0.2	
	LTC	0.001~0.2	

(略)

附則

2020年3月1日制定 施行
2020年5月1日改定 施行
2020年5月29日改定 施行
2020年8月11日改定 施行
2020年9月9日改定 施行
2020年10月14日改定 施行

2021年2月15日改定 施行
2021年4月1日改定 施行
2021年4月15日改定 施行
2021年4月19日改定 施行
2021年4月27日改定 施行

以上

別紙「取扱い暗号資産の概要」

<u>名称</u>	<u>ビットコイン</u>
<u>ティッカーコード</u> (<u>シンボル</u>)	<u>BTC</u>
<u>法的性格（資金決済法第2条第5項第1号、第2号の別）</u>	<u>第1号</u>
<u>主な利用目的</u>	<u>送金、決済、投資</u>
<u>一般的な性格</u>	<u>分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。</u>
<u>価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態</u>	<u>パブリック型ブロックチェーン</u>

2021年2月15日改定 施行
2021年4月1日改定 施行
2021年4月15日改定 施行
2021年4月19日改定 施行

以上

(追加)

<u>保有・移転記録台帳の公開、非公開の別</u>	<u>公開</u>	
<u>保有・移転記録の秘匿性</u>	<u>ハッシュ関数 (SHA-256、RIPEMD-160)、楕円曲線公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録</u>	
<u>利用者の真正性の確認</u>	<u>秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。</u>	
<u>価値移転記録の信頼性確保の仕組み</u>	<u>Proof of work (PoW) コンセンサス・アルゴリズム (分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式) の1つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。</u>	
<u>詳細は、当社ウェブサイトにて「取扱い暗号資産の概要説明書」をご確認ください。</u>		
<u>名称</u>	<u>ビットコインキャッシュ</u>	
<u>ティッカーコード (シンボル)</u>	<u>BCH</u>	
<u>法的性格 (資金決済法第2条第5項第1号、第2号の別)</u>	<u>第1号</u>	
<u>主な利用目的</u>	<u>送金、決済、投資</u>	

<u>一般的な性格</u>	<u>分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。</u>
<u>価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態</u>	<u>パブリック型ブロックチェーン</u>
<u>保有・移転記録台帳の公開、非公開の別</u>	<u>公開</u>
<u>保有・移転記録の秘匿性</u>	<u>ハッシュ関数 (SHA-256、RIPEMD-160)、楕円曲線公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録</u>
<u>利用者の真正性の確認</u>	<u>秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。</u>
<u>価値移転記録の信頼性確保の仕組み</u>	<u>Proof of work (PoW) コンセンサス・アルゴリズム (分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式) の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。</u>
<u>詳細は、当社ウェブサイトにて「取扱い暗号資産の概要説明書」をご確認ください。</u>	
<u>名称</u>	<u>イーサリアム</u>
<u>ティッカーコード (シンボル)</u>	<u>ETH</u>

<u>法的性格（資金決済法第2条第5項第1号、第2号の別）</u>	<u>第1号</u>	
<u>主な利用目的</u>	<u>送金、決済、スマートコントラクト</u>	
<u>一般的な性格</u>	<u>分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。</u> <u>分散型アプリケーションが動作する実行環境の役割を果たす特徴を持つ。</u>	
<u>価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態</u>	<u>パブリック型ブロックチェーン</u>	
<u>保有・移転記録台帳の公開、非公開の別</u>	<u>公開</u>	
<u>保有・移転記録の秘匿性</u>	<u>公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録</u>	
<u>利用者の真正性の確認</u>	<u>秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。</u>	

<u>価値移転記録の信頼性確保の仕組み</u>	<p>現状は Bitcoin と同様の PoW を用いているが、difficulty の累積和の意味で最長のチェーンを採択するのではなく、<u>アンクルブロックの数も考慮して最も多くのブロックが累積したチェーンを採択する点で若干の差異がある。</u></p> <p>また、Ethereum 2.0 において PoS に移行する予定であり、いわゆるマイニングの代わりとして、ETH をステークしている量に応じてブロック生成権が付与される形態となる。</p>	
-------------------------	---	--

詳細は、当社ウェブサイトにて「取扱い暗号資産の概要説明書」をご確認ください。

<u>名称</u>	<u>イーサリアム・クラシック</u>
<u>ティッカーコード</u> (シンボル)	<u>ETC</u>
<u>法的性格（資金決済法第 2 条第 5 項第 1 号、第 2 号の別）</u>	<u>第 1 号</u>
<u>主な利用目的</u>	<u>送金、決済、スマートコントラクト</u>
<u>一般的な性格</u>	<p><u>分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。</u></p> <p><u>分散型アプリケーションが動作する実行環境の役割を果たす特徴を持つ。</u></p>

<u>価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態</u>	<u>パブリック型ブロックチェーン</u>	
<u>保有・移転記録台帳の公開、非公開の別</u>	<u>公開</u>	
<u>保有・移転記録の秘匿性</u>	<u>公開鍵暗号の暗号化処理を施しデータを記録。</u>	
<u>利用者の真正性の確認</u>	<u>秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。</u>	
<u>価値移転記録の信頼性確保の仕組み</u>	<u>Proof of Work (PoW)</u> <u>コンセンサス・アルゴリズム (分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式) の一つであり、一定の計算量を実現したことが確認できた記録者を管理者と認めることで分散台帳内の新規取引を記録者全員が承認する方法。</u>	
<u>詳細は、当社ウェブサイトにて「取扱い暗号資産の概要説明書」をご確認ください。</u>		
<u>名称</u>	<u>ライトコイン</u>	
<u>ティッカーコード (シンボル)</u>	<u>LTC</u>	
<u>法的性格 (資金決済法第2条第5項第1号、第2号の別)</u>	<u>第1号</u>	

<u>主な利用目的</u>	<u>送金、決済、投資</u>
<u>一般的な性格</u>	<u>分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。</u>
<u>価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態</u>	<u>パブリック型ブロックチェーン</u>
<u>保有・移転記録台帳の公開、非公開の別</u>	<u>公開</u>
<u>保有・移転記録の秘匿性</u>	<u>Script アルゴリズムを用いたプルーフオブワーク</u>
<u>利用者の真正性の確認</u>	<u>秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。</u>
<u>価値移転記録の信頼性確保の仕組み</u>	<u>Proof of work (PoW)</u> <u>Script アルゴリズムを用いたプルーフオブワークの仕組みにより、Litecoin ブロックチェーンの維持管理に参加する者が、ブロック生成に必要な、およそ2分30秒（150秒）間隔で発見可能な難易度に調整され、かつ完全に確率的で計算コストの掛かる特定のナンス（nonce）を見つけ、Litecoin ネットワークに対し伝播することをもって、維持管理参加者が指定するアドレスに対してプロトコルから付与される。</u>

詳細は、当社ウェブサイトにて「取扱い暗号資産の概要説明書」をご確認ください

さい。

<u>名称</u>	<u>エックスアールピー（リップル）</u>
<u>ティッカーコード</u> <u>（シンボル）</u>	<u>XRP</u>
<u>法的性格（資金決済</u> <u>法第2条第5項第1</u> <u>号、第2号の別）</u>	<u>第1号</u>
<u>主な利用目的</u>	<u>送付（送金）、決済、投資</u>
<u>一般的な性格</u>	<u>XRPは金融機関の送金において法定通貨間のブリッジ通貨としてオンデマンドの流動性を提供する役割を有している。これによって金融機関は従来よりも格段に流動性コストを下げつつも送金先のリーチをグローバルに広げることができる。</u> <u>XRPはRipple Consensus Ledger上での取引における取引料としての性格も有している。ネットワークへの攻撃が起こった時には手数料が自動的に釣り上げられるため、攻撃が未然に防げる仕組みとなっている。XRPは3～5秒ごとにファイナリティをもって決済を行うことができ、1秒につき1,500の取引を決済できるスケーラビリティを有する構造となっている。</u>
<u>価値移転、保有情報を記録する電子情報</u> <u>処理組織の形態</u>	<u>パブリック型ブロックチェーン</u>

<u>保有・移転記録台帳の公開、非公開の別</u>	<u>公開</u>	
<u>保有・移転記録の秘匿性</u>	<u>取引は ED25519 と SECP256K1 によって暗号署名が行われ、ハッシュには SHA512 half が使われる。</u> <u>Multi-sign 機能によって高度のセキュリティを可能としている。</u>	
<u>利用者の真正性の確認</u>	<u>秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データと特定し、記帳する。</u>	
<u>価値移転記録の信頼性確保の仕組み</u>	<u>Proof of Consensus (PoC)</u> <u>Ripple Consensus Ledger (RCL) はビザンチン將軍問題を解決する独自のコンセンサス・アルゴリズムを採用し、Proof-of-Work よりもより速くかつ効率的に取引を承認することができる。</u> <u>信頼される認証済み法人バリデーター（検証者）が取引についての投票を行い、80%以上の合意が得られた取引については承認を行う。RCL では決済が 3～5 秒ごとに実行され、1 秒につき 1,500 の取引まで対応できるスケーラビリティを有する。</u>	
<u>詳細は、当社ウェブサイトにて「取扱い暗号資産の概要説明書」をご確認ください。</u>		
<u>名称</u>	<u>リスク</u>	
<u>ティックカーコード（シンボル）</u>	<u>LSK</u>	

<u>法的性格（資金決済法第2条第5項第1号、第2号の別）</u>	<u>第1号</u>	
<u>主な利用目的</u>	<u>送金、決済、スマートコントラクト</u>	
<u>一般的な性格</u>	<u>分散型の価値保有・価値移転の台帳データ維持のための、暗号計算および価値記録を行う記録者への対価・代償として発行される暗号資産。</u>	
<u>価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態</u>	<u>パブリック型ブロックチェーン</u>	
<u>保有・移転記録台帳の公開、非公開の別</u>	<u>公開</u>	
<u>保有・移転記録の秘匿性</u>	<u>公開鍵暗号における公開鍵のハッシュを使って残高を記録</u>	
<u>利用者の真正性の確認</u>	<u>電子署名の技術を使い利用者本人が作成した記録であることを担保</u>	
<u>価値移転記録の信頼性確保の仕組み</u>	<u>Delegated Proof of Stake (DPoS) コンセンサス・アルゴリズム(分散台帳内の不正取引を排除するために、記録者全員が合意する必要があるが、その合意形成方式)の一つであり、投票により委任された承認者が取引履歴を管理し、ブロックを承認する仕組み。</u>	
<u>詳細は、当社ウェブサイトにて「取扱い暗号資産の概要説明書」をご確認ください。</u>		

--	--

以上